

2018年10月29日

## IoT サービス「INTU LINE」で

### プラスチック成形業界のエコシステムを構築

#### ● ユーシン精機 ●

プラスチック射出成形品取出口ロボット専門メーカーの（株）ユーシン精機（社長／小谷眞由美、本社／京都市、資本金／19億8566万円）はこのほど、2017年7月に発表した射出成形品取出口ロボット「FRA」シリーズの特長の一つであるIoTサービス「INTU LINE」に成形業界を牽引するトップメーカー各社の協力を得て、射出成形機、温度調節機などの射出成形周辺機器を接続し、プラスチック射出成形工場の「見える化」をはじめとするデジタル化に取り組み、業界全体に貢献するエコシステムを構築しました。

ユーシン精機は、生産性や成形品質の向上に不可欠な情報の見える化、射出成形品取出口ロボットのトラブル予防などに有効なIoTサービスとして、導入や利用料金のハードルの高さを感じることなく、射出成形品取出口ロボットを設置したその日から、誰でもすぐに利用できる「簡単・手軽さ」を追求した「INTU LINE」を展開してきました。これからは「INTU LINE」をIoTハブとしてメーカー間の垣根を越え、各機器の情報を共有できるプラットフォームとしてお客様にご提供いたします。また、ユーシン精機は長年にわたり射出成形品取出口ロボットを提供しており、世界各国で10万台以上が稼働し続けている、お客様所有の既納機へも順次対応し、そのネットワークを拡大させます。これにより成形工場のデジタル化の一助として生産性の改革に取り組める基盤を構築することが可能となりました。さらに、2018年4月に発表した「AIを活用した稼働トラブル原因推定システム」などの新しい取り組みとあわせてお客様、メーカ双方の働き方を改革し、生産性の向上に寄与します。

<代表取締役社長 小谷 眞由美のコメント>

「ユーシン精機は、1991年にデジタル化による成形工場の完全無人化に取り組みましたが、当時と比較して今の通信インフラの進展には目を見張るものがあり、隔世の感を禁じ得ません。

この度の弊社IoTサービス「INTU LINE」のバージョンアップに際し、業界各社様よりご理解をいただき、また、各社のエンジニアの方々の“業界全体を盛り上げていきたい”という思いがひとつになったことは、今後のプラスチック射出成形業界の未来を感じます。

私どもは、ハートフルテクノロジーを標榜し“技術は高度化するが、それにより生み出された製品は、お客様にとって簡単で使いやすいものでなければならない”という考えの下、これからもプラスチック射出成形業界に貢献してまいります。」

(問合せ先)

広報担当：事業推進企画室 江副（えぞえ）

TEL：075-925-3960

本社：京都市南区久世殿城町 555 番地

## 【補足】

### ※IoT (Internet of Things)

ロボットやセンサといった「モノ」がインターネットに接続されること。製造にかかわる情報をデジタル化しインターネットに接続、データ活用する。インダストリー4.0 (Industrie4.0：ドイツ)、インダストリアルインターネット (Industrial Internet: アメリカ) に用いられている基本的な概念。

### ※「INTU LINE」

Intuitive (直感的に簡単に) に使えることを目指してネーミング。

### ※エコシステム (Digital ecosystem)

本来は自然界の生態系を意味する「ecosystem」を転じて、企業間の連携や協調関係全体を表す。